

コロナ社会対応ビジネスモデル創造事業補助金実績報告（公開用）

令和3年2月28日

| 項目 | 内容 |
|-----------|--|
| 事業者名 | 会社名：株式会社木乃婦 代表者職名・氏名：代表取締役 高橋拓児 |
| 補助事業テーマ | 和東茶ブランド創造事業 |
| 事業実施期間 | 令和2年9月7日 ～ 令和3年2月28日 |
| 事業の目的 | <p>① 和東産の茶葉を使用したマレーシアのでアイスの製造。</p> <p>② テストマーケティング（日本食レストラン／インフルエンサー）</p> <p>③ 「MATCHA∞EIGHT」店舗オープンに先立ち、ECサイトでの販売準備とレストランへの卸営業を行う。</p> |
| 事業の実績(成果) | <p>① 煎茶・抹茶・ほうじ茶を和東町の生産者より購入し、マレーシアへ輸出した。日本で作成したレシピをもとに、マレーシアの工場と和東茶を使った抹茶アイスを製造できるルートを確立できた。実際にレシピ作成者が現地に渡航して現地工場を指導する予定だったが、コロナ感染症流行のため渡航制限がかかり、直接の味見や指導が困難で、ライブ動画などで手順を伝えることになった。</p> <p>② アイス販売のターゲットとなる中華系マレーシア人のインフルエンサー11名に、現地で製造したアイスクリームの試食を実施。近年より健康志向になりつつある中華系には甘すぎると感じられたため、苦さや濃さを調整しながらレシピを何度も改良し仕上げた。また、改良したレシピをもとに、実際のオペレーションや課題を発見するために、日本食レストランでテストマーケティングを実施。中華系マレーシア人が甘すぎるものを近年食べなくなり、より健康志向になっていることをより認識した。8種類の味の違う煎茶、抹茶、ほうじ茶のアイスクリームというコンセプトはユニークで評価がとても高かった。</p> <p>③ 店舗が入る予定の商業施設の開業が2021年7月以降と遅れたため、店舗オープンに先立ち、先にECサイト（オンラインショップ）での販売を準備。サイトの立ち上げだけでなく、それに必要な配送資材、梱包資材、デザイン等も購入、準備をした。また、日本食レストランへの卸営業も行い、今回テストマーケティングしたレストランでも購入していただく予定。</p> |
| 今後の展望 | <p>・今後のECサイトと店舗オープンに伴い、インフルエンサーやメディアの露出増加が見込まれる。和東町のお茶の良さを広める機会を増やしていきたい。</p> <p>・店舗では、なぜ和東町のお茶なのか、煎茶や抹茶、ほうじ茶とはどういうお茶なのか、という点をお客様に説明するとともに、濃度の濃い抹茶を食べていただくことで（マレーシアの抹茶のアイスは味が薄くて甘いものが多い）、マレーシア人の抹茶に対する情報感度を高めていく。ひいては店舗の運営がスムーズに進み、継続的に和東町のお茶を輸出できるように改良を進めていく。</p> |